

サーバ/アプリケーション/ネットワーク  
監視ソフトウェア

# SIGNALert

サーバ、アプリケーション、ネットワークをトータルで監視  
優れたコストパフォーマンスと簡単操作でシステムの安定稼働を実現

## 4つの監視業務を遂行

サーバ上の障害を監視

管理者へ障害を通知

発生した障害への対処

定期的な稼働状況報告



# SIGNALert はサーバ/アプリケーション/ネットワークの監視

## マルチプラットフォーム対応で様々なレベルからの監視が可能!

アプリケーション、OSなど4種類のレベルから監視が可能です。  
段階的なしきい値設定で監視できるため、  
サーバ上の処理の実行状況が詳しくわかります。

### SIGNALert 監視対象一覧

#### アプリケーションレベル監視

- プロセス/ジョブ稼働状況 ● サービス稼働状況
- アプリケーションログファイル ● HULFT稼働状況(プロセス・転送開始終了・処理異常)
- アラートクライアントユーティリティ組み込みシステム ● ファイル作成・更新状況
- Webサイト(レスポンス時間・ページ改ざん) ● 処理未発生時の監視

#### OSレベル監視

- コンソール(Mainframe) ● メッセージキュー(OS/400) ● シスログ(UNIX/Linux)
- イベントログ(Windows) ● フォルダ/ディレクトリ/ライブラリ使用容量

#### ハードウェアレベル監視

- CPU使用率 ● 物理メモリ空き容量 ● 仮想メモリ使用容量 ● HDD使用容量

#### ネットワーク環境レベル監視

- ネットワーク機器(ping応答) ● SNMP機器(SNMP Trap)
- ネットワークインターフェース(トラフィック量、稼働状況) ● ネットワークサービス(ポート監視)

SIGNALert 監視対象イメージ

マルチプラットフォーム

Mainframe

OS/400

UNIX

Linux

Windows

ネットワーク機器

APL

OS

HARDWARE

NETWORK

NETMOBK

HYDRAVUE

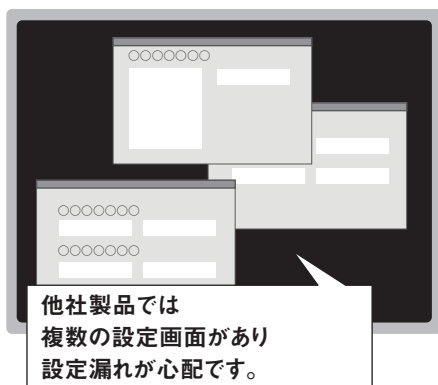


## 納得機能 1 HULFTの監視

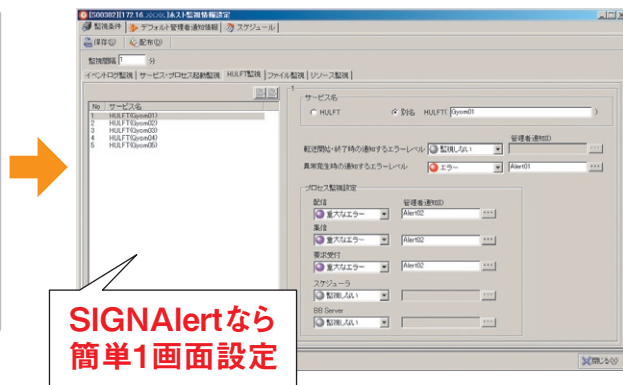
簡単な設定でHULFTの状態を確実に監視、便利な機能も備えています。

### 設定が簡単&便利

複数の画面で各種設定を細かく行う必要はありません。  
SIGNALertでは1画面で簡単に設定できます。



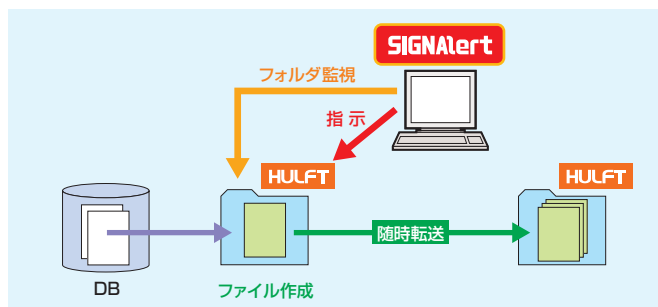
他社製品では複数の設定画面があり設定漏れが心配です。



SIGNALertなら簡単1画面設定

### ファイル存在監視

ファイルの作成時間を予測して起動させたり、ユーザの作りこみで連携していた作業も、SIGNALertで任意のフォルダやファイルを監視し、ジョブを実行することで、ファイル作成時に随時転送することができます。



### 約10,000件の対処方法提供

HULFTのすべてのエラーに対応する約10,000件の対処方法が提供されており、ユーザが複雑な設定をすることなく、適切な対処方法が表示されます。

### HULFTの常駐プロセスの応答監視

通常の監視ソフトではプロセスの有無だけを監視しますが、HULFTとの独自通信により起動しているが応答がない状態(フリーズ)など、他社ツールでは実現できない確実な監視が可能です。

### HULFT構成管理

インストールされているHULFTの情報を収集し、製品タイプ、オプション、バージョン、シリアル番号の一覧を画面およびCSVで出力可能です。修正モジュールが出たときなどの検索に便利です。

# に特化し、システム環境の品質向上・業務改善をサポートします。



## 納得機能 2 Webシステムの監視

高価格帯製品並みの機能を装備しており、高いコストパフォーマンスを実現しています。



### Webレスポンス時間の監視

コンテンツが実際に表示されるまでの時間やログイン後のページ表示までの時間を監視。時間の推移をグラフ表示することも可能です。

### ホームページ改ざんの監視

コンテンツ上の特定文字列やHTMLタグ上の文字列を監視、ホームページの改ざんをチェックします。

### ネットワークトラフィック量の監視

ネットワークトラフィック量を、インターフェース毎の送受信それぞれで監視。リアルタイムでの確認や推移のグラフ表示も可能です。

### クラスタ構成対応

クラスタ構成の監視にも対応、共有ボリューム上のファイル監視の場合はフェイルオーバー発生時もスムーズに監視を継続できます。



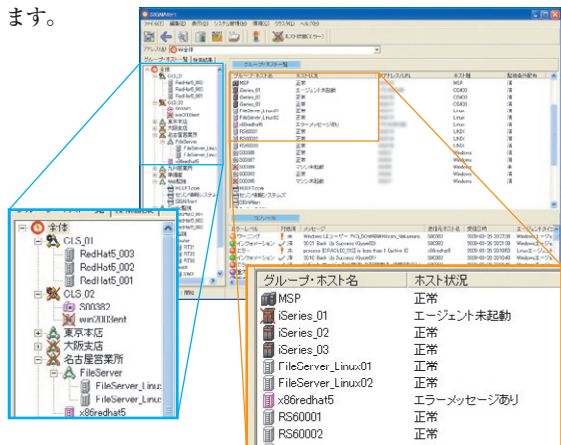
## 納得機能 3 運用管理者へのサポート

通常業務から異常時の対処方法まで、多彩な機能で運用をサポートします。

### 通常時利用機能

#### ホストの監視状態の一覧管理

ツリー状に設定された一覧から任意のホストまで、確認できます。



#### Viewer機能

SIGAlert Managerの情報を管理者間で共有できる無償のツールです。



#### 管理画面セキュリティ(権限設定)

ホスト単位に各種権限(管理情報更新権限、履歴削除権限、リモート対処実行権限、ユーザ管理権限)を設定可能です。

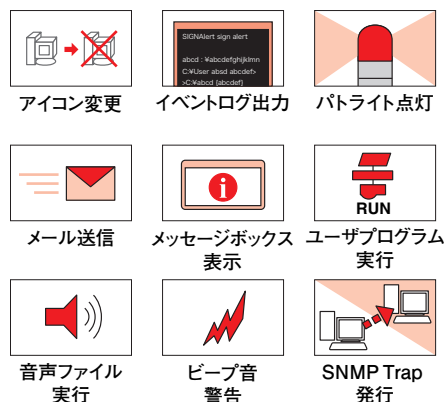
#### CPU/Trafficリアルタイム表示

Manager管理画面から対象ホストのCPU使用率やネットワークのTraffic量をリアルタイムに確認できます。

### 異常時利用機能

#### 9通りの通知方法

状況に応じて9通りの通知方法を設定できます。



#### メール送信スケジュール機能

時間帯や営業日によりメールの宛先を変える機能を備えています。

#### リモート対処機能

遠隔から対処ジョブを実行することが可能です。

#### 対処方法の蓄積及び表示

異常ごとの対処方法を登録することで、異常を検知したときの対応処置をすばやく表示できます。

### 報告時利用機能

#### 報告書作成

ボタン一つで簡単に報告書を作成でき、業務の効率化をサポートします。

#### グラフ出力

リソースの使用状況を簡単に出力でき、報告書に活用できます。

## ■ 主な機能

機能		概要	
障害監視	サーバ監視	OSログ監視	コンソール(Mainframe)、メッセージキュー(OS/400)、シスログ(UNIX/Linux)、イベントログ(Windows)によりサーバの状態を監視
		常駐プロセス監視	プロセス/ジョブの稼働状況を監視
	ネットワーク監視	ping監視	ping発行によるマシン/ネットワーク機器の稼働監視
		SNMP Trap監視	SNMP対応機器からのTrapを監視
		ポート監視	ネットワークサービスの稼働を監視
業務監視	アプリケーションログ監視	アプリケーションの出力するログファイルの文字列を監視することによるアプリケーション状態監視	
	HULFT監視	簡単な設定でHULFTの常駐プロセス、ファイル転送の正常異常を監視	
	ファイル存在監視	ファイルの作成・更新・削除を監視	
	アラートクライアント機能	SIGNALert Managerへリアルタイムにメッセージを通知	
	クラスター対応機能	クラスター環境での監視に対応	
	時間監視機能	特定の時間帯のメッセージの通知状況を監視。処理未発生時の監視や、特定のエラー通知のみ監視対象外とすることが可能。	
性能監視	CPU使用率監視	CPU使用率をしきい値と継続時間で監視	
	メモリ使用量監視	物理メモリ、SWAPメモリの空き容量、使用容量を監視	
	HDD使用量監視	ドライブ、マウントポイント、フォルダ、ディレクトリの使用量を監視	
	Webレスポンス監視	Webアクセスのレスポンス時間やコンテンツの改ざんを監視	
	Traffic監視	SNMPによるネットワークトラフィック量の監視	

機能	概要	
通知機能	9通りの通知機能	警告灯、メールなど9通りの通知
	メール通知スケジュール機能	メールの宛先を曜日や時間帯、エラーレベルにより振り分け
	監視者通知抑止機能	同一のメッセージが発生した場合に通知を抑止
対処機能	対処方法表示蓄積機能	メッセージに対応する対処方法を表示、蓄積
	リモート対処機能	遠隔からの対処ジョブ実行
報告機能	報告書作成機能	定型報告書の作成
	リソースグラフ出力機能	CPU、メモリ、HDD、Webレスポンス、Trafficの統計情報を出力
	HULFT構成情報出力機能	HULFTのバージョン、シリアル番号を一覧出力
耐障害機能	自己監視機能	SIGNALertの自己監視、自動復旧
	通知メッセージ蓄積・再送機能	メッセージの通知失敗時の蓄積、再送
管理機能	管理画面セキュリティ機能	サーバや機能ごとにセキュリティを設定
	Viewer機能	SIGNALert Viewerによる管理者間の情報共有
	サブマネージャ機能	複数のSIGNALert Managerで複数拠点監視を実現
	エージェント情報自動取得機能	SIGNALert Agentを起動すれば、SIGNALert Managerに自動で登録
	監視条件エクスポート/インポート	監視条件のバックアップや移行時、大量設定のためのエクスポート/インポート機能
	監視スケジュール機能	テストや定期的なサーバのシャットダウンなどを行う時に、監視を行わない時間を設定

- SIGNALertはSystemWalkerと連携しており、SIGNALertの受信メッセージをSystemWalker/CentricMGRへ連携することが可能となっております。

## ■ SIGNALert Ver.3 の製品ラインナップ

製品名	機種	標準価格(円) (1年パック込)	製品価格(円)
SIGNALert Manager	Windows	403,000	350,000
SIGNALert Manager Web 監視オプション	Windows	230,000	200,000
SIGNALert Manager SNMP 監視オプション	Windows	230,000	200,000
SIGNALert Agent	Mainframe	1,150,000	1,000,000
	OS/400	575,000	500,000
	UNIX	173,000	150,000
	Linux	92,000	80,000
	Windows	69,000	60,000

## ■ HULFT7 監視Edition

**確実なファイル転送監視を実現。しかも低コストで!**

HULFT7とSIGNALertを組み合わせることで、ファイル転送、後続ジョブ実行など、HULFT7による全てのアクションログを一箇所で運用・監視することが可能です。

### ◆導入後のサポート体制

本製品の使用に関するお問合せへの対応、情報提供、障害に対する修復支援、改良版/拡張版のご提供を行いますので、導入後も安心してお使いいただけます。

## テスト版のダウンロード

ホームページの「テスト版ダウンロードお申し込みページ」から本製品のテスト版(60日間試用期限あり)をダウンロードすることにより、導入前検証を行うことができます。

テスト版ダウンロードお申し込みページ <http://www.hulft.com/sigttest/index.html>

対応環境の詳細につきましては、URL <http://www.hulft.com> より最新情報をご参照ください。

## HULFT Familyが実現するデータ連携基盤

**ファイル転送基盤** **HULFT** ファイル転送をトリガーにシステム間連携を実現。  
**HULFT-HUB** HULFTデータ連携の管理・運用ミドルウェア

**データ加工基盤** **HULFT-DataMagic** 登録情報を元に、目的のデータフォーマットへ自動で変換。  
**サーバ/アプリケーション/ネットワーク監視** **SIGNALert** マルチプラットフォーム対応のサーバ/アプリケーション/ネットワーク監視ソフトウェア。

●SIGNALert、HULFTは株式会社セゾン情報システムの登録商標または商標です。●OS400、zOSは、米国における米国International Business Machines Corp.の登録商標です。●UNIXは、The Open Groupの登録商標または商標です。●Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。●本カタログに記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示(®、TM)を付記していません。

SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD. [お問合せ先]  
**株式会社 セゾン情報システムズ**  
HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620  
※利用時間 9:15~17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

**HULFT営業部**  
〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1  
サンシャイン60 21F  
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

**関西事業所**  
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16  
肥後橋MIDビル4F  
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

**名古屋営業所**  
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19  
住友生命名古屋ビル21F  
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

**九州サテライトオフィス**  
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27  
九勤博多駅前ビル  
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

URL <http://www.hulft.com/> e-mail [hulft@saison.co.jp](mailto:hulft@saison.co.jp)

このカタログの記載内容は、2010年4月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。

201004-2000-1